

入間市長賞

支え合って生きる

東町中学校 三年 岩田 実夕

私は『令和4年度から国民健康保険税が増税する。』というニュースを偶然目にしました。

「私達も国民健康保険に入っているの？」
と母に聞いてみると、私達は父の会社の加入している健康保険に入っているけれど、祖父母は国民健康保険に加入しているという事、祖母が手術をした時に、高額療養費の限度額認定証をもらって、窓口の支払いを限度額にしてもらったり、薬代を含めて限度額を超えた金額を支給してもらったり、お世話になった事を教えてもらいました。そして加入している皆にその権利があるという事も教えてもらいました。

国民健康保険について調べてみたいと思い調べてみました。日本が法により皆保険制度として常に何らかの健康保険に加入する事を義務づけているため何らかの健康保険に加入しなくてはなりません。国保制度は、病気やけがをした時に安心して医療が受けられるように、被保険者が国保税を出し合いお互いに助け合う制度です。なぜ皆加入しなくてはならないのかというと、病気になってから保険に加入するのでは相互扶助制度の意義がなく、不公平が生じるからです。患者さんが窓口で支払う自己負担額以外を『保険給付費』といい、これを国保が負担しています。被保険者は減っているのに、医

療費は増えているため、厳しい状況が続いているので国民健康保険税が増税した事が分かりました。

私の祖母を助けてくれた国民健康保険を安心して続けていくために出来る事を調べてみました。大切なのは健康診断を受ける事です。早期発見・早期治療が一番だと思いました。後は、ジェネリック医薬品を選ぶ事、時間外受診は避ける事、かかりつけ医とかかりつけ薬局をもつ事（病歴を把握しているかかりつけの医療機関を持つことで二重の診療や投薬が減らせるからです。）など出来る事がたくさんあるという事を知りました。将来私もお世話になる国民健康保険を皆で協力して守っていきたいと思いました。

小学三年生の新学期、教科書が配られる時、「この教科書は全て税金でまかなわれています。なので皆さんは無料でこの教科書をいただく事ができます。税金からいただいたこの教科書を大切に使うてください。そして将来、皆さんも税金を納税する事でお返ししてください。」と先生がおっしゃっていた事がずっと頭に残っています。その時は税金がよく分からずにいましたが、私達の生活に深く関わっている事が段々と分かってきました。安心して生活が出来、学校で学べているのも税金に助けられているという事が分かり、私も将来きちんと納税したいと思いました。

今、私の生活を支えてくれる税金を納税してくれている父、母、全ての方に感謝して生活したいです。